

能登半島地震支援センター（金沢別院内）

金沢別院（金沢市笠市町2-47）に設置する能登半島地震支援センターは、2月1日から支援物資の搬送、被災した寺院や住宅の片付け作業などを行うボランティアの募集を始めた。活動内容は、▽支援物資の搬送▽被災寺院や被災地域の片付け作業▽寺院、避難所等への訪問活動▽支援センター内での支援物資の仕分け、清掃作業など。

また、同別院対面所（書院）でボランティアの宿泊も受け入れている。定員は15人。寝袋、食事、洗面用具など必要なものは各自で持参。風呂はなく近くの銭湯を利用。台所は使用可。駐車場利用は事前にセンターに問い合わせを。各自でホテルなどを手配してセンターのボランティア活動に参加することもできる。

申し込みは、支援センターのホームページ（左にQR



能登半島地震支援センターホームページ

ボランティアの募集始める

2月5日には石川県七尾市内の被災寺院で、ボランティアなどの5人が片付け作業などを行った



Rコード）などにある「ボランティア登録フォーム」「ボランティア登録用紙」に必要事項を記入し、note.sien1.1@gmail.comまたはファクス076（221）6417まで。活動日までに必ず現住地の社会福祉協議会でボランティア保険（天災コース）に加入のこと。地域社協で保険加入ができない場合や、団体での保険加入の場合は、事前に支援センターまで。

問い合わせは同センター ☎090（2565）5325または090（2163）150215。

全国各地から支援物資届く

同センターには連日、全国の教区や組、寺院や門信徒をはじめ、仏教婦人会総連盟、仏教壮年会連盟などの教化団体、宗門校などから、次々と支援物資が届いている。

13年前に東日本大震災で被災した福島県南相馬市・

勝縁寺の湯澤義秀住職は義晋副住職と1月11日、物資を車で運び込んだ。「大震災の時には全国の寺院、門信徒の皆さんから心温まるご支援を受けた。そのご恩を少しでもお返しできれば。浄土真宗のみ教えを心

の支えとする同行、被災地のため、微力ながら何かお役に立ちたい」と話す。宅配便で届く物資にはメッセージが添えられていることが多いという。熊本教区内のガールスカウト団員からは「お体を大切にしてください」と添えてあった。

同センターは、届いた物資を仕分けし、被災寺院、門信徒や避難所、高齢者施設などに届けている。また、同センターでは、被災した寺院や門信徒などから必要な物資の聞き取りを行い、ホームページなど

で情報を公開。「ボランティアの募集も始まったので、後片付けに必要な物資の要望も増えてくると思われる。必要とされる物資をお届けできるようにしたい。引き続き、皆さまのご協力、ご支援をお願いしたい」としている。

なお、同センターは作業用車両（軽トラック、軽ダンプ、3ト以下のダンプ、ユニボなど）の提供を求めている。任意保険は支援センターで加入し、現地での移動及び燃料などにかかる経費はセンターが負担。